

平成 30 年度公益社団法人鹿児島県栄養士会事業報告

鹿児島県栄養士会社団法人化 30 周年並びに公益社団法人化 7 周年の記念式典を開催し 30 年以上の継続会員計 108 名を表彰し記念品を贈呈した。

地域包括ケアシステムを推進するため、管理栄養士・栄養士には地域ケア会議への参加、病院・自宅・介護施設の連携システムさらに在宅訪問による栄養指導が必要とされている。それらに対応可能な管理栄養士・栄養士を育成するため、関係する内容で 4 回の鹿児島県栄養士会主催研修会を実施した。演習形式の研修会は実施できていないため、より実践的な研修会の開催が今後の課題である。これらの研修会は離島 2 ヶ所で受講可能とした。

鹿児島県からの委託事業として「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会標準献立」および「食によるフレイル予防の手引き」を作成すると共に、糖尿病重症化予防対策事業の一環として、糖尿病重症化予防従事者連携研修会の開催並びに糖尿病重症化予防従事者人材登録事業を実施した。

県民向け活動として、かごしま県民交流センターにおいて第 12 回県民公開講座(参加者 639 名)、毎月 1 回の管理栄養士によるクッキング講座(延べ 237 名)、電話による栄養相談(栄養 110 番)、他団体と共に健康づくり栄養関連事業(歯と口の健康週間、鹿児島小児糖尿病サマーキャンプ、糖尿病週間関連行事、市民健康まつり)への参加などを行った。また様々な研修会へ講師派遣を多数行っており、県民の食生活に関する知識向上につながる活動を実施した。

栄養ワンダー2018 鹿児島の活動として栄養の日(8月4日)に健康増進につながる食事や管理栄養士・栄養士の仕事を紹介するパンフレット 800 冊を一般の方々に配布した。2020 年に開催されるかごしま国体に向けて県内でスポーツ栄養への関心が高まっていることに対応するため、スポーツ栄養に関する一般向け研修会を 11 会場で実施した。

研究活動として垂水研究の食事摂取頻度調査に協力した。1151 名の垂水在住高齢者の食事調査の結果を解析中であり、次年度以降に調査結果を紹介する。

食による災害支援を行う JDA-DAT 鹿児島に所属する会員が桜島火山爆発総合防災訓練など県内で実施される防災訓練に参加した。また、災害時に活用できるパッククッキング技術を習得する研修会を実施し、様々な機会に一般に紹介した。